

してピンとのすきまが大きくなった時に、合わせ目を削って口づめをするためと、動輪軸箱もりくさびを締め上げて、シリンダ中心と主動輪中心間の距離に狂いができた場合、これによって調整する。主連棒は一般に炭素鋼で鍛造されるが、往復部分の重量軽減によって機関車のつりあわせをよくするため、外国ではニッケル鋼、クロム・モリブテン鋼などの特殊鋼を用いたものがあり、国鉄においてもニッケルクロム鋼を試用したこともある。ビッグエンド受金、スモールエンド受金は、いずれも青銅鋳物を使用し、そのすべり面にはホワイトメタルがはられる。ビッグエンド受金が一体式で摩耗防止のため浮動ブシュ(floating bush)を使用するものもあり、また受金のかわりにコロ軸受を使用するものもある。浮動ブシュ式の構造は主連棒体に鍛鋼品の固定ブシュを圧入し、この固定ブシュとクランクピンとの間に青銅製の浮動ブシュをそう入してある。浮動ブシュは固定ブシュ面の油膜とクランクピン面の油膜との間に介在し、クランクピンと主連棒間の回転により、油膜の間で自由に回転できるようになっている。この式では潤滑剤として硬グリスを使用し、固定ブシュとクランクピンのすべり面は焼入れされる。浮動ブシュ式とコロ軸受式のものには国鉄においては、試験的に使用されたこともあるが、現在は使用していない。主連棒の長さは長いほど角度の影響が少なくてよいのであるが、長すぎると強度上太くなって往復部分の重量が大となり良くない。普通ピストン行程の3倍以上としている。また断面形状は長方形のものもあるが、重量軽減のため普通は工形である。(高桑五六)

じゅんかい 巡回 国鉄の線路・建設物・用地および保安設備は、保線区従事員がつねに巡回監視して保全につとめ、輸送の安全が確保されている。この巡回監視の総称。中でも線路巡回はもっとも重要である。

1 線路巡回

国鉄保線区従事員の勤務規程では、線路巡回について、つぎのとおり定められている。

保線区長は毎月1回以上担当区間を徒歩巡回し、線路・建設物・用地・保安設備および営林ならびに各種工事の状態を視察し遺憾なきを期すべし。

線路分区長は2日ごとに1回以上担当区域を徒歩巡回し、線路・建設物・用地および保安設備の状態を視察し、その保守の業務を督励し、作業または工事の課程順序および方法を指示すべし。また線路分区長は、ときどき担当区域内の列車に便乗し、線路および建設物の車両におよぼす影響により、その保守の状態を考察すべし。

線路工手長は、毎日その担当区域(これを線路班と称す)を徒歩巡回し、かつ作業を予定し、工手その他とともにその作業に従事すべし。

この線路巡回は、線路の保守状態を監視するのが主であることはいうまでもないが、いま1つ重要な目的は、この巡回によって作業の予定をつくり、仕事の計画を立てることである。したがって巡回はできるだけ回数を多くし、周到な注意をもって行われなければならない。もし故障があれば、ただちにこれを取除く手配をすると同時に、列車に危害をおよぼさないよう、ただちに関係の向に知らせて応急の処置をとり、一刻も早く修理復旧するのである。

2 列車巡回

線路は列車の通過によって損傷されるので、列車に便乗して、走行中に受ける振動あるいは動揺の程度等によって、線路および付帯設備の保守状態のいかんを検討するもので、列車運転状況に適應する線路状態を維持するため列車巡回をする。

3 機関車巡回

機関車のように重量の大きなものが、線路にあたる影響は格別大きいから、機関車に便乗して、走行中に受ける振動あるいは動揺の程度によって、線路および付帯諸設備の維持状態を検討して、この調査の結果を織り込んで、適切な作業計画を立てるのである。

機関車は構造上から、動揺の程度・乗心地の良否等のは握が、一般の列車巡回にくらべて細かい点まで察知できるため、とくに機関車巡回が行われるのである。(高村義次)

じゅんかいかんとりょこうりょひ 巡回監督旅行旅費

国鉄の営繕区・保線区・建築区・機械区・給電区・電力区・発電区・変電区・信号通信区・信号区・通信区・無線区に勤務するつぎに掲げる職にある者、および工事掛員として指名された者が、勤務規程等に定められたところにしたがって巡回監督旅行をした場合、および遠方制御装置により操作される変電所への巡回にかぎり支給される旅費。

区長・支区長・本区および支区の助役(技術)・分区長・工事士・営繕士・営林士・器材士・電力工手長・同副長・線路工手長・同副長・線路工手・工事工手長・建築工手長・営林工手長・通信工手長・同副長・保安掛・信号保安掛・通信機掛・用地手・無線掛・電機掛・作業掛。(青木秀夫)

じゅんかいしんりょしゃ 巡回診療車 へき地や無医村に在働している国鉄職員、およびその家族の健康管理と作業能率の向上をはかるために、旧式客車を改造したものであって、健康診断・疾病の早期発見および治療のできるようにX線装置・各種医薬品・資材を始め暖房・給水・電熱・寝台等ひととおり診療ができるように設備してある。またこの診療車は災害事故の救急車としても活用できるわけである。

これには医師・看護婦その他の要員が乗り込み、列車に連結して一定の計画のもとに巡回するのがたてまえで、現在診療車を配置してあるのは、釧路・旭川・札幌の各鉄道管理局である。(木村斗鬼雄)

じゅんかいぶんこ 巡回文庫 各鉄道管理局が、優良図書を選んで、定期的に各主要現場を巡回して職員の閲覧に供している業務。これは職員に優良図書あるいは貴重な業務参考資料としての図書を読むことにより品性を養い、文化を高め、社会経済その他各般の動きを把握し、業務推進に役立たせようとするものである。(山辺貞雄)

じゅんがく(けい)よさん 純額(計)予算 つぎの2つをいう。

1 1取引において、収入と支出がある場合、これを相殺した金額を収入あるいは支出として計上する予算である。たとえば一定の手数料を支払って物品を委託売却した場合、売却額から手数料を差引いた金額を収入とする。この予算は内容が簡明となる利点があるが、予算統制の対象にならないものを生ずる点に欠点がある。

2 1取引ごとによらず総収入と総支出の差額を予算として計上する。予算に弾力性を与えるため、この意味の純計予算主義が提唱されている。(笹嶺 清)

じゅんかんしゅうぜん 循環修繕 車両を修繕する場合に、故障の部分品を車両から取りはずしてこれを修繕し、ふたたびその車両に取付ける場合と、あらかじめ完備した同種の準備品(予備品という)とつけかえて行う場合とがある。前者を現車修繕、後者を循環修繕という。

現車修繕では、修繕を施行する場所に車両を回送して行うばかりでなく、その部品の修繕が完了するまで車両を休ませてお